

令和5年度

事業計画書（変更後）

収支予算書（補正後）

一般財団法人 畜産環境整備機構

令和5年度事業計画書

1 貸付事業の実施

(1) 畜産高度化推進リース事業

畜産高度化推進リース事業として、畜産経営における家畜排せつ物の適切な処理と利活用の推進、畜産経営の健全な発展、食肉及び生乳の流通の合理化のために必要な施設等を以下のとおり貸し付けるとともに、既貸付に係る基本貸付料等の回収等を行う。

貸付施設等購入額	畜産高度化推進リース事業のうち畜産高度化支援リース事業
	2,800,000(2,800,000)千円 うち畜産環境対策リース事業 600,000千円 (600,000千円) (消費税込み)

注1：金額は、新規購入額ベースである。

注2：()内は、前年度予算額である。

なお、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（畜産クラスターリース）、畜産経営体生産性向上対策事業（畜産ICTリース）及び酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪GOリース）については、貸付施設等の購入に当たり、各々の補助事業に基づき借受者の負担を軽減するとともに、畜産高度化支援リース事業と一体的に実施する。

(2) 債権管理の的確な実施

貸し付けたリース債権の適正な管理及び処理を行う。

(3) その他

リース物件によるふん尿の処理・利用等について現地指導・調査等を実施する。

2 情報の提供

(1) 畜産関係機関等への情報の提供として、当機構のホームページに「畜産環境情報」を掲載する。

(2) インターネットホームページの運営

当機構で開設しているインターネットホームページについて、当機構の業務内容を紹介するとともに畜産環境保全に関する情報を掲載し、適時最新情報に更新する。

(3) 畜産環境問題に関する研修事業

民間会社等の関係者を対象に畜産環境問題に関する研修会を実施し、最新情報を提供する。

3 畜産汚水浄化施設の AI 支援型リモート管理技術開発・普及事業

養豚の汚水浄化施設における水質データを遠隔から収集し、AI 技術により高度な解析を行い、遠隔操作によって汚水浄化施設を制御するシステムを構築することで、養豚排水の硝酸性窒素等の濃度を安定的に低下させる技術の開発と普及を行う。

4 凝集促進剤を含む固形分の堆肥化技術開発普及事業

平成 29 年に肥料取締法が改正され、凝集促進剤を使って分離した固形分の堆肥が特殊肥料の届出で流通利用できるようになった。しかし、その固形分の排出実態と堆肥化技術及び堆肥の利用技術が明らかになっていない。本事業では当該固形分の堆肥化について、国内の畜産農家において実態調査を行うとともに、その調査で得られた問題点などを解決するための当該固形分の堆肥化技術、製造される堆肥の利用技術の開発と普及を行う。

5 指定混合肥料による地力増強技術普及事業

肥料法改正で新たに製造可能となった家畜ふん堆肥を活用した指定混合肥料について、窒素肥効などの特性値を明らかにし、指定混合肥料の適正利用と家畜ふん堆肥の利用促進を図る。窒素肥効の特性値と地温変化に基づいて窒素供給量の経時的な把握と作物による吸収量を測定して、栽培中の窒素肥効を見える化し指定混合肥料の普及利用拡大に資する。また同肥料の連続施用による土壌の地力増強効果について明らかにする。

6 高濃度畜産臭気脱臭技術開発普及事業

堆肥化促進技術の進歩によって、一次発酵における発酵温度の上昇とともに高濃度の臭気が発生している。特に一次発酵を主体とした密閉縦型堆肥化装置から発生する臭気や、汚水浄化処理施設における固液分離機や脱水機などの施設から発生する高濃度の臭気が悪臭苦情の原因となっている。その対策として脱臭に寄与する微生物が繁殖しやすい接触濾材及び浄化処理施設を活用した高濃度の悪臭を脱臭する技術を開発し普及を図る。

7 堆肥舎等長寿命化推進事業

温室効果ガス排出削減等に資する好気性強制発酵による高品質堆肥の生産を加速化させるため、老朽化した堆積型の堆肥化処理施設から好気性強制発酵施設への低コストな改修事例の調査・分析し、事例集の作成に取り組む。

8 畜産堆肥流通体制支援事業

畜産経営に由来する環境負荷の軽減のため、好気性強制発酵による堆肥の高品質化、堆肥の広域流通の促進が必要である。このため、優良事例の調査、環境問題の課題を抱える現地調査を行い、その解決手法、対応策等について、普及啓発する。また、個別経営体等の相談による受託調査を実施し、対応策等を助言する。

9 シンポジウムの開催

農林水産省と共催で畜産環境シンポジウムを開催する。

10 受託等事業

- (1) 畜産環境技術研究所において、全国の堆肥センター等からの依頼により堆肥の成分分析検査を行う。
- (2) 書籍の販売
当機構で編集・発行した畜産環境保全に関する書籍を販売する。

収 支 予 算 総 括 書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	5年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	213	213	0	
(2) 特定資産運用収入	10	10	0	
(3) 事業収入	1,911,970	2,332,926	△ 420,956	
(4) 補助金等収入	672,703	687,409	△ 14,706	
(5) 雑収入	2,162	1,432	730	
(6) 特別債権収入	7,004	7,004	0	
(7) 他会計からの繰入収入	27	51	△ 24	
(8) 資金一体的借入額	454,545	454,545	0	
(9) 資金一体的返済額	454,545	454,545	0	
事業活動収入計	3,503,179	3,938,135	△ 434,956	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	3,351,001	3,367,612	△ 16,611	
(2) 保険料支出	60,843	58,675	2,168	
(3) 借入金支出	239,676	258,768	△ 19,092	
(4) 管理費支出	26,142	29,845	△ 3,703	
(5) 補助金等返還支出	307	10,820	△ 10,513	
(6) 他会計への繰出支出	27	51	△ 24	
(7) 資金一体的返済額	454,545	454,545	0	
(8) 資金一体的貸付額	454,545	454,545	0	
事業活動支出計	4,587,086	4,634,861	△ 47,775	
事業活動収支差額	△ 1,083,907	△ 696,726	△ 387,181	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出	7,000	7,000	0	
投資活動支出計	7,000	7,000	0	
投資活動収支差額	△ 7,000	△ 7,000	0	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	20,000	20,000	0	
当期収支差額	△ 1,110,907	△ 723,726	△ 387,181	
前期繰越収支差額	1,762,275	2,486,001	△ 723,726	
次期繰越収支差額	651,368	1,762,275	△ 1,110,907	

収支予算書総括表

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

科目	畜産高度化推進リース事業										畜産汚水浄化施設のA1支援型リモート管理技術開発・普及事業	凝集促進剤を含む固形分の堆肥化技術開発普及事業	指定混合肥料による地力増強技術普及事業	高濃度畜産臭気脱臭技術開発普及事業	堆肥舎等長寿命化推進事業	畜産堆肥流通体制支援事業	財産管理(基本財産管理勘定)	受託等事業	合計	
	畜産高度化支援リース事業				畜産経営環境対応強化緊急対策事業	畜産環境対策リース支援事業	畜産経営力向上緊急支援リース事業	畜産クラスター機械導入リース事業、畜産経営体生産性向上対策リース事業、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策リース事業、肉用牛経営安定対策補助リース事業及び畜産経営災害総合対策緊急支援事業	畜産クラスター機械導入リース事業、畜産経営体生産性向上対策リース事業及び酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策リース事業との一体的実施	持続的な畜産経営確立のための環境対策等リース事業										
	事業勘定		管理勘定	畜産経営環境対応強化緊急対策事業																
経営・食肉・生乳・旧貸付	畜産環境対策リース	管理勘定			畜産経営環境対応強化緊急対策事業	畜産環境対策リース支援事業	畜産経営力向上緊急支援リース事業	畜産クラスター機械導入リース事業、畜産経営体生産性向上対策リース事業、酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策リース事業、肉用牛経営安定対策補助リース事業及び畜産経営災害総合対策緊急支援事業	畜産クラスター機械導入リース事業、畜産経営体生産性向上対策リース事業及び酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策リース事業との一体的実施	持続的な畜産経営確立のための環境対策等リース事業										
I 事業活動収支の部																				
1 事業活動収入																				
(1)基本財産運用収入																				213
(2)特定資産運用収入	10			10																10
(3)事業収入	1,665,426	1,567,891	97,535		8,728		307	225,089		2,620									9,800	1,911,970
(4)補助金等収入					297	60,714			454,545			36,852	37,934	29,339	29,207	11,367	12,448			672,703
(5)雑収入	505	500		5															1,630	2,162
(6)特別債権収入	7,004	7,004																	27	7,004
(7)他会計からの繰入収入			113,147							27										27
(8)資金一体的借入額									454,545											454,545
(9)資金一体的返済額	454,545	454,545																		454,545
事業活動収入計	2,127,490	2,029,940	210,682	15	9,025	60,714	307	225,089	909,090	2,647	36,852	37,934	29,339	29,207	11,367	12,448	1,843	9,827	3,503,179	
2 事業活動支出																				
(1)事業費支出	2,732,598	2,184,532	548,066		40		6,715	247	454,545	2	36,378	37,480	28,942	28,810	7,495	7,782		140	9,827	3,351,001
(2)保険料支出					129	60,714														60,843
(3)借入金支出					9,417			227,259		3,000										239,676
(4)管理費支出	7,530			7,530							474	454	397	397	3,872	4,666		8,352		26,142
(5)補助金等返還支出							307													307
(6)他会計への繰出支出		113,147																27		27
(7)資金一体的返済額									454,545											454,545
(8)資金一体的貸付額	454,545	454,545																		454,545
事業活動支出計	3,194,673	2,752,224	548,066	7,530	9,586	60,714	7,022	227,506	909,090	3,002	36,852	37,934	29,339	29,207	11,367	12,448	8,519	9,827	4,587,086	
事業活動収支差額	△ 1,067,183	△ 722,284	△ 337,384	△ 7,515	△ 561	0	△ 6,715	△ 2,417	0	△ 355	0	0	0	0	0	0	△ 6,676	0	△ 1,083,907	
II 投資活動収支の部																				
1 投資活動収入																				
特定資産取崩収入																				0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 投資活動支出																				
特定資産取得支出	6,650	6,650																350		7,000
投資活動支出計	6,650	6,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	350	0	7,000
投資活動収支差額	△ 6,650	△ 6,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 350	0	△ 7,000
III 財務活動収支の部																				
1 財務活動収入																				
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 財務活動支出																				
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	19,000	19,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
当期収支差額	△ 1,092,833	△ 747,934	△ 337,384	△ 7,515	△ 561	0	△ 6,715	△ 2,417	0	△ 355	0	0	0	0	0	0	△ 8,026	0	△ 1,110,907	
前期繰越収支差額	1,627,763	2,135,203	△ 555,901	48,461	3,976	0	△ 28,219	△ 9,433	0	△ 13,263	0	0	0	0	0	0	66,399	115,052		1,762,275
次期繰越収支差額	534,930	1,387,269	△ 893,285	40,946	3,415	0	△ 34,934	△ 11,850	0	△ 13,618	0	0	0	0	0	0	58,373	115,052		651,368

注1) 「資金一体的貸付額」とは、畜産クラスター機械導入リース事業等3リース事業を円滑に実施するため、同事業会計に貸し付ける額。「資金一体的返済額」とは、同事業会計への貸付額が返済される額。

注2) 「資金一体的借入額」とは、貸付機械購入費に充てるため畜産高度化支援リース事業基金(以下「基金」という。)から借り入れる額。「資金一体的返済額」とは、同借入額を基金に返済する額。

※は変更箇所